

『嘘をついているヤツがいる』？！

具体的な事柄を示さずに社員を

嘘つき呼ばわり！！

5月1日の大阪交番検査車両所の「総点呼」の「所長訓示」の中で、「社員が物事を隠蔽する事象が見受けられる」と前置きした上で「嘘をついているヤツがいる」「ウソはすぐバレます」「報告する社員のことをチクリなどと言うのはよくない」「それはチクリではない、正しい報告です」などといった発言がされました。

「訓示」を聞いて精神的に圧迫を感じた社員も多かったのではないのでしょうか。なぜなら何のことを言いたいのか具体的に言わずに、一方的に「嘘をついているヤツがいる」などと社員を嘘つき呼ばわりしたからです。例えば「前年度出勤遅延が4件あった、ワースト1だ、だから私は怒っている」とか具体的に言うならまだしも、そういう具体的な事柄を言わずに社員にただプレッシャーばかりをかけるのは「職場を紊乱（びらん）する行為」ではないのでしょうか？！「権限」を持っている職場の「長」の発言としては「不穏当」で「パワーハラスメント」に等しいのではないのでしょうか？！ また、「チクリではない正しい社員の報告」とはどういう「報告」のことを指すのでしょうか？！

ちなみに4階通路にある「所長訓示専用掲示板」に貼ってある「所長訓示」の内容には「一連の発言」は一切載っていません。

「訓示」を聞かれた社員の皆さんはどう感じましたか？！